

## 令和5年6月議会 主な質問を抜粋

### 住環境整備における都市計画(市街化調整区域)の変更について

Q【千住】企業誘致に伴い、人材の確保と同時に住環境整備も重要と考える。南諫早産業団地に京セラの進出が決まり、住環境整備が求められるが、周辺は市街化調整区域のため、都市計画の変更が必要となる。都市計画の変更に関する県の見解と、変更する場合、どのような手続きが必要となるか?

A【土木部長】南諫早産業団地に立地する企業のための住宅確保は、大きな課題であると認識しており、諫早市や立地企業の意見も聞きながら住宅市街地の開発も含め、具体的な方針を検討する必要があると考えている。まずは、既成市街地や都市計画で市街化を図ることとしている市街化区域において、住まいの確保を進める必要があるが、郊外部における住宅市街地の開発の手続きとしては、市街化区域への編入と、市街化調整区域における地区計画がある。市街化区域への編入は、県決定の都市計画であり、現在、区域の定期見直しの手続きを進めている。しかし、諫早市を含む長崎都市計画区域については、将来人口が減少する見通しであることから、新たな住宅地の開発のために市街化区域を拡大することは難しい状況である。一方、市街化調整区域における地区計画については、計画的なまちづくりの視点から、諫早市が都市計画決定することにより、住宅の開発が可能になる。

### 教員の育成・確保について

Q【千住】教員採用試験において、志願倍率が下がってきており、志願者を増やすためにも教員になりたいと思っていただくような魅力アップが必要と考えるがその取り組みは?

A【教育長】今年度から「夏休み充電宣言」に取り組む。教員が、長期の休業期間を活用し、心身の休養を図り、自らが希望する研修を通して自分を磨き、しっかりと充電したのちに生き生きと授業に取り組むことは、子どもたちの成長に還元できるだけでなく、長崎で教員になりたいと希望する人を増やすことにもつながるのではないかと考えている。

Q【千住】教員の確保については全国的な課題である。講師不足も大きな課題で、産休・病休・退職などの代替教員が不足している状況である。教員免許を所持されている人材の掘り起しも必要と考えるが、県ではどのように人材の掘り起しを考えているのか?

A【教育長】スマートフォンなどから簡単に登録できる「学校スタッフマッチングシステム」を今年度新たに構築することとしている。併せて、学校に努める前にペーパーティーチャーセミナーを実施し、教壇に立つことへの不安や、あるいは悩みに寄り添うサポート体制の整備も進めて、人材の確保に努める。

Q【千住】現在、教員採用数より、県内で教員免許取得者数が少ない状況にあり、需要と供給のバランスが崩れていると考える。社会性も兼ね備えた教員免許取得者を増やすことが、より質の高い教育環境を作り出すことができるのではないか。そこで、県立大学に教員養成学部を創設してはどうか?

A【総務部長】今後少子化の進展が想定される中、必要とされる教員数がどのように推移していくか見極めつつ、財源の確保と合わせて慎重に検討していく必要があると考える。

### 里親制度における里親への委託率について

Q【千住】里親等への委託率を上げていくために、未委託の里親への委託を進めていくのも重要だが、里親登録をしたもの、長年委託されない方も多くおられる。住宅改修などの費用はもちろん、受け入れる覚悟や気持ちを考えると、もっと丁寧な説明や、フォローが必要ではないか?

A【危機管理部長】里親委託を推進するうえで、未委託里親の方は大変重要な役割を担っていただきたい。信頼関係の維持や未委託状態に対する不安感の払拭、さらには養育技術の維持・向上などにもしっかり努めてまいりたい。

“いさはや愛”が原動力!!

長崎県議会議員 千住よしはる

TEL.51-6117 FAX.51-7097 諫早市真崎町956-1-202 1000ju.jp

公式ウェブサイト  
スマート  
タブレットでも  
ご覧いただけます

ふるさと諫早を背負い より良き未来を描く

# Reports of Activity

2024

4

No.03



## 県央諫早の発展へ向け 2期目の新たなスタート!



“いさはや愛”が原動力!!  
REGIONALISM IS MY ENERGY